

2023年4月1日時点で医学部医学科に在籍する皆さん およびそのご家族の方へ

—「全国医学生における感染症専門医の認知度調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田 嘉信

研究責任者 岡山大学病院 感染症内科 准教授 萩谷 英大
研究分担者 大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 忽那賢志

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

感染症専門医の数は少なく、日本感染症学会の報告では2023年1月時点で1685名と公表されています。ポストコロナ・薬剤耐性菌時代など感染症専門医の存在意義・必要性はますます上昇している状況で感染症専門医の数不足は明らかですが、その原因は医学生における認知度が低いためではないかと推測されます。本研究では、医学生における感染症専門医の認知度を調査させていただきます。特にCOVID-19前後での変化を調査して、感染症パンデミックが医学生の意識・将来の進路選択にどの程度影響を与えたのかを明らかにしたいと思います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

日本の大学医学部における卒前教育において、感染症教育をどの程度充実させていくべきかを考える基礎データとなります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年10月1日の時点で全国の大学医学部医学科に在籍する医学生を対象にします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

2023年10月1日の時点で全国の大学医学部医学科に在籍する医学生を対象にアンケートを実施します。得られた回答を基に研究者がデータ解析をします。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、アンケート結果から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 感染症専門医に関する質問

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院感染症内科で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報

は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

責任者：萩谷 英大

所属：岡山大学病院 感染症内科

職名：准教授

連絡先（平日：9時00分～17時00分）：086-235-7342